

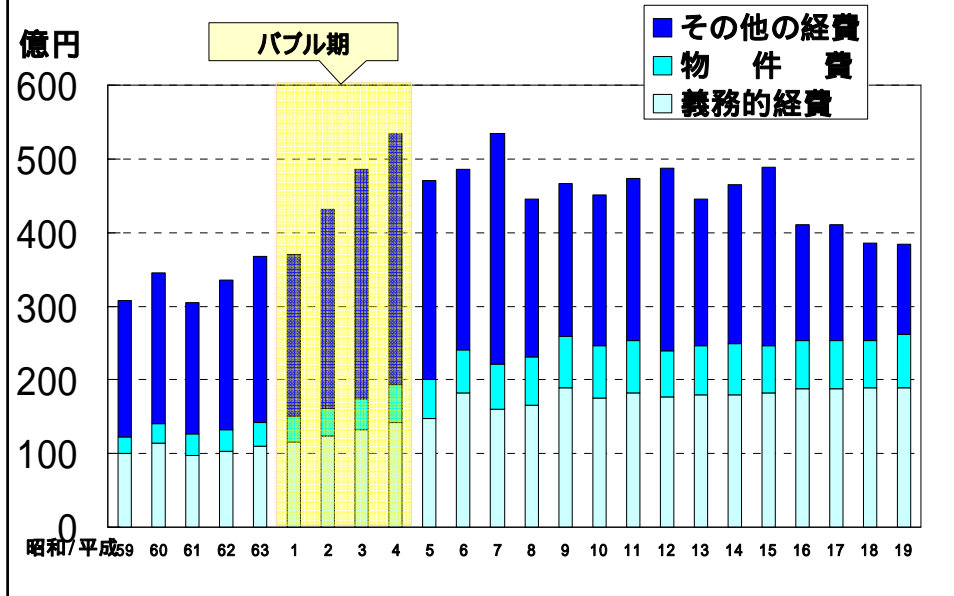
箕面市の経営改革 ビジョンと戦略

1. なぜ経営改革が必要なのか
2. 箕面市の財政状況と財政健全化
3. 行政運営の効率化
4. 開かれた市議会
5. 市民参画と自治基本条例

なぜ経営改革が必要なのか

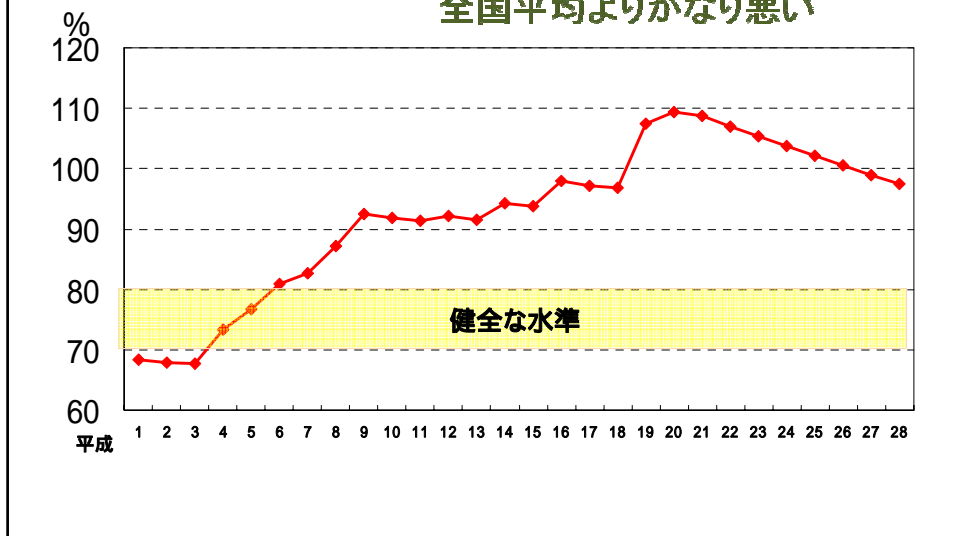
- 本格的な「**地方分権**」の時代の到来
- バブル崩壊や三位一体改革に伴う**財政悪化**
- 多くの自治体が**経営危機**に直面
 - ―― 箕面市も例外ではない
- 市民と行政が一体となって地域を経営
 - ―― **市民自治の確立**

箕面市の歳出額推移

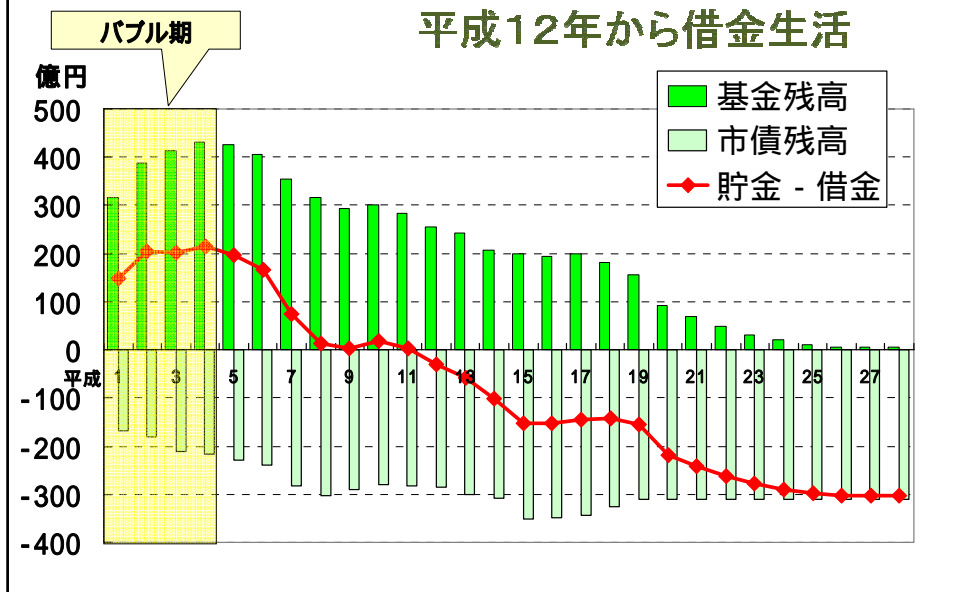


箕面市の経常収支比率推移

70~80%が健全な水準
全国平均よりかなり悪い



箕面市の基金残高と市債残高推移



財政の健全化

- 市民にわかりやすい財政公表
- 市民と共に考える財政
予算の事前説明・全事業を見直して再構築
- 義務的経費の圧縮・公共施設の統廃合・
遊休資産の活用・適正な受益者負担……
- 総合計画には財政フレームを
- **財政健全化条例**の制定

行政運営の効率化

- 行政の役割見直し
官民の役割を見直し、共助を推進
- 行政の内部改革による効率化・スリム化
- 行政評価制度の活用
市民など第三者による評価
- **経営改革推進体制**の確立 — 市民も参加

開かれた市議会

- 積極的な議会の公開
土日議会・中継場所の拡大・
インターネット中継……
- 市民と議員の対話
議会による市民フォーラムの開催など
- **議会基本条例**
議会運営の理念・市民に親しまれる議会

